

白鶴美術館
秋季展

酒器と 神獣

～神、人を繋ぐ美術～

本館



重要文化財
「象頭兎尊」 殷時代



重要文化財
「鳥形甕(大保甕)」
西周時代



重要文化財
「龍文有蓋尊」 西周時代

2015年
9月12日(土)～12月6日(日)

休館日

月曜日 但し9月21日(祝・月)、10月12日(祝・月)、11月23日(祝・月)は開館、
9月24日(木)、10月13日(火)、11月24日(火)を休館

開館時間

午前10時～午後4時30分(但し入館は午後4時まで)

入館料

大人:800円 65歳以上・大学・高校生:500円
中・小学生:250円 (大人・大学・高・中・小学生団体20名以上は2割引)

催し

講演会 11月8日(日) 演奏会 10月24日(土)

美術に親しむ会 9月19日(土)

アート・トーク 9月13日・27日、10月11日・25日、11月1日・15日・29日の各日曜日

ワークショップ 9月20日(日)より毎週日曜日、12月6日(日) 絨毯完成式

新館レクチャー 10月18日(日)、11月22日(日)

白鶴美術館本館

白鶴美術館新館

御影駅

住吉駅

住吉駅

御影駅

住吉駅

住吉駅

住吉駅

住吉駅

住吉駅

住吉駅

住吉駅

住吉駅

住吉駅

住吉駅

住吉駅

○阪神御影駅、JR住吉駅から

市バス38系統鴻森台行

「白鶴美術館前」下車

○阪神御影駅から北東約1km

(徒歩15分)

○阪神高速道路3号神戸線、

大阪方面:魚崎出口から1.5km

姫路・明石方面:摩耶出口から6km

○無料駐車場あり(大型バス可)

新館20周年記念名品展

オリエント絨毯

～人を彩る楽園と鳥獣～



Nain Toudeshk, Central Persia
[サイン・ツデシク・ペルシア中央部]
20世紀初頭

公益財団法人
白鶴美術館
HAKUTSURU FINE ART MUSEUM

〒658-0063 神戸市東灘区住吉山手6-1-1
TEL.FAX.078-851-6001
<http://www.hakutsuru-museum.org/>

HAKUTSURU

酒器と神獣 ～神、人を繋ぐ美術～ 本館

人づき合いのツールとして今日も大活躍のお酒。

その中国での起源は、5000年以上も前にさかのぼるとも言われます。しかし、古く、中国においてお酒が媒介の役割を果たしたのは、人と人の間だけでなく、人と神の間においてもでした。そのことを象徴するのが、現在、美術品として鑑賞されている青銅器や銀器等の酒器です。これら古(いにしえ)の酒器には、また天から降りてきて人と神の仲介役をする神獣(龍や鳳凰など)がしばしば表されます。一方で、昭和初期に開館した当白鶴美術館内に於いても、神獣の一種と捉えられていた鶴や獅子が多く意匠化されています。

本展覧会では、この「酒器」と「神獣」をキーワードとして、青銅器、銀器といった工芸品を中心とした作品が実際に果たした仲介者としての役割を探り、白鶴美術館という空間の中でそれらが導く世界へと皆様を誘います。



重要文化財 「鍍金花鳥獸文銀杯」 唐時代



「金欄手八仙人壺」 明時代



「麒麟・鳳凰図」双幅 狩野典信筆 江戸時代
展示期間：9/12(土)～10/12(祝・月)



新館20周年記念名品展

嘉納秀郎コレクション

オリエント絨毯 ～人を彩る楽園と鳥獣～

平成7(1995)年1月、神戸は阪神・淡路大震災による甚大な被害を蒙り、当館においても、同年3月からの春季展示開催が見送られました。同時に予定されていた新館の開館も延期。半年後に迎えた展示再開と、それに伴う新館の開館は、当館にとり「復興記念」ともなったのです。

開館当初、国内最初のカーペット・ミュージアムとして、注目をあつめた新館は、当館第四代理事長嘉納秀郎(1934～2010：白鶴酒造十代目)の蒐集した中東絨毯を主な展示品とし、その後、同氏蒐集によるアフリカの仮面・彫刻などや、篤志の方よりご寄贈頂いた絨毯の公開に加え、平成23(2011)年からは中東絨毯・文化を知る機会の提供を目的として、専門家をお招きした「新館レクチャー」やワークショップなども開催しています。

中東といえば民族・宗教・思想に起因する紛争など、深刻な問題を抱える地域について、日々報じられているところですが、歴史的に多様な文化・美術を生んできた地であることはいうまでもありません。この度は当新館開館、そして震災復興20周年記念に託し、中東文化・美術の発展を祈念したいと思います。



イスファハン シュレシ工房、
ペルシア中央部 20世紀中期



ウシャック(ロット)、アナトリア西部
17世紀



カザック セフン、コーカサス
1900年ごろ

小展示コーナーでは、
アフリカの仮面や彫刻、
及び嘉納秀郎が撮影した
写真を展示いたします。

講演会

日 時：11月8日(日) 午後2時～3時30分
講 師：泉屋博古館学芸課長 廣川 守 氏
演 題：「青銅器の規格」

演奏会

日 時：10月24日(土) 午後2時～3時
歌と舞：パフォーマー 桜井 真樹子 氏
テーマ：「鳥のこぼれ」

美術に親しむ会

日 時：9月19日(土) 午後1時30分～3時30分
テーマ：「神獣をめぐる」 講師：当館学芸員

アート・トーク

日 時：9月13日・27日、10月11日・25日、
11月1日・15日・29日の各日曜日 午後2時～3時
テーマ：「展示品の魅力」 当館学芸員によるスライド解説

ワークショップ

- 9月20日(日) より毎週日曜日 午後1時～4時
「彩り鳥どりパイル織」・「リバーシブル?!～作ってわかる屏風の裏技～」
指導員：神戸学院大学人文学部 大原ゼミ
- 12月6日(日) 午後1時～4時 「花と鳥の絨毯イベント」
「花と鳥の絨毯完成式・小さな絨毯織」
講師：大手前大学非常勤講師 新田 恭子 氏



新館レクチャー

- テーマ：「日本における中東絨毯コレクションと研究 ―現状と未来―」
- 「日本における中東美術研究史」
10月18日(日) 午後2時～3時 国立民族学博物館名誉教授 杉村 棟 氏
 - 対談「中東の敷物を巡って ～調査・収集の現場から～」
11月22日(日) 午後2時～3時 元白鶴美術館評議員 竹原 伸爾 氏
神戸学院大学非常勤講師 吉田 雄介 氏